



進路指導だより

～一人一人のよりよい生活を考えて～

令和5年12月5日発行

茨城県立結城特別支援学校
進路指導グループ

高等部では、10月23日から11月2日までの9日間、普通科、B・L科2年生、3年生が第Ⅱ期現場実習、普通科1年生は校内実習、B・L科1年生は進路週間を行いました。現場実習では、生徒一人一人が卒業後の生活に向けて一生懸命に取り組む姿が見られました。校内実習、進路週間では、事業所から仕事をいただき緊張感をもって作業に取り組んでいました。一部ですが、今回の実習で頑張ったこと、課題になったことをご紹介します。

現場実習



高普2年Aさん：
(製麺工程のライン作業)
○自分から挨拶をしたり、周りの人に話しかけたりすることができた。
○作業のペースを速くでき、一部分ならエラー対処ができるようになった。
★相手の方の名前を呼ばないで要件を伝えてしまった。長時間勤務で集中できないときがあった。

高B・L2年Bさん：
(Oリング、ワッシャー入れ、組立など)
○金属部品の検品やゴムの取り付けを間違えないように取り組むことができた。
○分からないことを聞いてメモを取ることができた。
★第Ⅲ期現場実習も頑張って取り組んでいきたい。



高普3年Cさん：
(サンド類作り、清掃など)
○初めての仕事でも進んで行うことができた。
○優先順位、時間配分を考えて仕事ができるようになった。
★丁寧さを意識してスピードも上げて仕事ができるようにしたい。
★疲れても顔に出さないようにする。

高B・L3年Dさん：
(シーツ交換、食事配膳、下膳など)
○落ち着いて話すことができた。
○整理整頓ができた。また、物を置く場所を考えて行うことができた。
★毎日意識して明るく笑顔で話すことができるようにする。
★周りを見て自分で考えて行動するようにする。
★リボン結びを毎日練習する。



校内実習

(高普1年：校内実習)



Eさん：時計を見ることを意識して時間を守ることができた。先生の話聞いて分からないことは質問することができた。
次の実習に向けて、一日も休まないことを目標にしたい。報告するときは、数を間違えないように気を付ける。

(高B・L1年：進路週間)

Fさん：作業では、落ち着いて作業することができた。行動面では、すぐに報告・連絡・相談をすることができた。休憩中に少しでもストレッチをすることができ、集中力を保って作業することができた。
学校生活の中で、大きな声で返事をしたり、落ち込んでもすぐ気持ちを切り替えたりできるように意識していきたい。

